

授業科目 心理学II

【担当教員名】 松 本 京 介	対象学年	1	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要・一般目標：G10】

「心理学」で修得した学習内容を基に、「心理学II」では、発達と臨床に焦点をおき、心理的支援の方法と実際について理解し、さらに専門的な心理学の知識を身につける。

【学習目標・行動目標：SB0】

1. 「心理学I」で修得した心理学の基本概念を応用し、人間の心理的問題やその支援の方法について具体的に述べることができる
2. 心理的支援の方法について複数の立場を対比することができる
3. 生涯発達の観点から、それぞれの発達期の特徴と心理的問題について説明できる
4. 日常生活と心の健康との関係について説明できる
5. 社会福祉現場における心理的支援の必要性和倫理的重要性について説明できる

回数	授業計画・学習の主題		SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	心理的支援の方法1	精神分析学のアプローチ	1,2	講義・実習
2	心理的支援の方法2	分析心理学のアプローチ	1,2	講義・実習
3	心理的支援の方法3	カウンセリングのアプローチ	1,2	講義・実習
4	人間の成長と発達1	思春期・青年期の発達1	1,3	講義
5	人間の成長と発達2	思春期・青年期の発達2	1,3	講義
6	人間の成長と発達3	思春期・青年期の心理的問題1	1,3	講義・ビデオ
7	人間の成長と発達4	思春期・青年期の心理的問題2	1,3	講義・ビデオ
8	日常生活と心の健康	ストレスとコーピング	1,4	講義
9	心理的支援の実際1	心的外傷とその支援	1,5	講義・ビデオ
10	心理的支援の実際2	児童虐待とプレイ・セラピー1	1,5	講義
11	心理的支援の実際3	児童虐待とプレイ・セラピー2	1,5	講義
12	心理的支援の実際4	さまざまな心理療法	1,5	講義
13	人間の成長と発達5	乳幼児期・児童期の発達とその障害	1,3	講義
14	人間の成長と発達6	成人期・壮年期・高齢期の発達と心理的問題	1,3	講義
15	まとめ		1～5	講義

【 使用図書 】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	ソーシャルワーカーのための心理学	庄司順一、西澤哲	有斐閣	2001・2,000円＋税
参考書	スクールカウンセリングの基礎と経験	馬場謙一、松本京介	日本評論社	2008・2,500円＋税
その他の資料	適宜プリントを配布する。			

【評価方法】

出席状況、授業態度、小レポート、
期末試験の総合評価

【履修上の留意点】

多岐に渡る心理学の分野を紹介するため、週によって内容が変化する。十分に予習・復習をすること。また、心理学に関する総合的な理解を得るためにも、欠席がないようにしてもらいたい。